

射水市総合防災訓練に参加



平成26年9月28日(日)に、射水市金山小学校周辺において、国・県・市・地元等々(41機関)が災害発生時における迅速かつ的確な防災活動の実施や、防災思想の普及啓発を図るため、災害応急対策等について実践的かつ実効性のある総合的な防災訓練を行いました。

訓練では、「台風による集中豪雨および地震」を想定しました。規模は、大型の台風(950hPa)・集中豪雨(300mm/24h)・震源地(呉羽山断層)・地震の規模(最大震度5強)を想定し、被災想定は、低地において内水氾濫が発生している。土砂災害警戒情報が発令されている。市内において、ライフラインが絶滅・道路陥没等々の被害が発生している。更に被害が拡大する事を想定し、射水市現地対策本部と関係機関による連携した防災訓練を行いました。

立山砂防事務所では、近年、全国で頻発する土石流の恐ろしさや避難の大切さをより多くの方々に理解してもらうため、土石流体験装置による3Dシアターを上映しました。

また、常願寺川流域の砂防事業における必要性・重要性を理解してもらう事を目的としてパネルの展示も行いました。

■ 土石流体験装置(3Dシアター)



196名が体験

■ パネル展示

常願寺川の砂防事業について紹介



■ 砂防事業の必要性や重要性を 地元小学生に分かりやすく説明



当日はアンケートの取り組みも実施し、108名の方々に協力して頂きました。
協力していた皆さん、有り難うございました。